土地

関敵を撃滅、城内に突入

五.

本日 夕刊四頁

天地玄黄 を現けさず 変らしや空間動戦、但し厳勝

原東附近を爆撃

暇を得た南總督

遠遊ばさる

後藤特派員發

て、近く徳引指げを行うことにな

一か労働獎勵

際しぐれ曼陀羅

の職場相の樹蔭」に

武雄藤

が建設が作り

醫宵 待草

育待草 武田

戀心淚の悲劇質語集

原の湖に近く! わが低人は楽はれ、

職動青春の哀傷

武羅其

祖民機能罪漢消滅を派決の姉弟

・ 20個大日本雄辯會講談社等行(別語)

1

の影

が影響の個、野郷の日本での音を製御り日にかられる。

整語 態度 大 戦

と湧返る大人氣大評判! 女にも男にも面白い! 瀬なら面白さなら、眞に空前の素晴しい大増

Cは世一日午前十一時四十分藝

醫療無線電報』制愈よ實施

に五字母毎に五錢を二錢に)を以

【旣報】 廿九日午後七時ごろ下宿

介な醫事中退の男 ん外二名がボートで教田郎近病院

に昇き込、手當を加へあと人もや

篠崎博士選任城大醫院長に

目九正巡送店人失事兄德(一)京

娱婦小荷物係入夫阿蝦北里一六六

屋でカルモチン自殺を関つた、京

崩退機し新院長に肉料放技術等的精模分差等機多の功能を残して風

エキソシズムを流聴する妓生二人 月前から南大門通一洋服商自飛路 | 町署員に發見され場

遊びが過ぎてお目玉

人クライケノフ君、土耳古人エン

へ 財入して遊び騒つて doのを本 | からねゝ 卅一日最近た乾酸を受け ウエハカ君 b 仲 好しにたり、 自宅 | 本語 アプレスシーロート

銘酒ケイリン

題が接頭したことから龍山零高等 阿峴防護團長遂に取調べらる 金費

列車飛降り

☆藏省で死藏呼戻しの運動

しもよろし

分儿厘七毛七糸端)の金地会價格とは

即を失敬しその足で並不町二四五

様かに南にか二名を引発関重取調

べを進めてゐる

壯紀·退路を斷つて總包圍戰

龍山師團發表

通行女をからかつたり

台宿して深夜の放歌亂舞ぶり

配工場で正確に製造して上げます 京城瞬前 セブランス病院 ランス眼鏡部

> 本の日本 百貨店にあり

節約して献

へらる

佐兵衛重信

大震動

法通過

B 品

帶帶

♥明

湖沿

取 帯·丸 帯 加工などや帯

鏡(六十錢の品)

何卒か見逃しなく!! ですじない機會です。又さない機會ですとない機會ですとの変質期間神に限し、この安質期間神に限し、この安質期間神に限し、

指

-リトクビ

措等 スキエ歩人製官 製局賣專鮮朝 -4效 主▶-度別問題、全点、会所、会 の のでは、まりてきる、会所、会 の のでは、まりてきる、会所、会 の のでは、まりてきる、中国 の のでは、まりてきる、中国 の のでは、まりてきる、中国 の で、人間、 のが、 と同時、 の

◆六月一日より

七日まで令

盛夏に魁けこの奉仕!

人相 5.2 中 44 (六 十 45 cm) (六 十 45 cm) (六 十 45 cm) (六 十 45 cm) (元 1 cm) (元 1

の品品

特像 三国時 (四国の品)

②ファイバー着尺大見切

②夏の婚職衣裳寶出し

③夏の婚職衣裳寶出し

③風五縄(四八十銭の品)

座ぶとんカバー 五枚分

「風五十銭(四八十銭の品)

一願八十銭(二関五十銭の品) は立上り男浴衣 は立上り男浴衣 概絞り名古屋帶 五國五十銭(六関五十銭の品)組友仙掛ふとん

C B A 特 と 三三四四 コ 三八三八上 0000 下



産金増産計畫は若手遅る

稼め通牒のこと

朝鮮農會臨時總會で可決

畜牛共濟愈よ實施

脳相、商相の兼任で

小倉正恒氏語る



頭上雨に

段安

の保険も五線高で依然保合四分は間近おため各五線の保然不透明のため小口スの依然不透明のため小口

般商品市况

戦を張り撃米や高繁東文は祖 はでも取扱って居るに過ぎない、状 県である人様かって用途にはより 用にせよ有力を而入は違くも少 日間撃撃を終入して之れを撃っ ですり割ぎたいと云っ意響を有す。 ことはないた人のは、

た様が南麓から遠差子る事が多にしても青森では仁川で購入し

のけ必然
◆ - - ◆
これたけ、金貨水脈布されてある
これたけ、金貨水脈布されてある
か判明せぬが、屋司の駅に押込
められ時前の銀の光にブラ下っ
てゐたものが大ピラーとせたらう
◆ - - ◆ - - ◆

歌上央部別は役乗道により行つ てきたものであるが規則によっ て全難を機能して行ふことにな つたのは悪はしい。本中からの 中有部批数を差さ有か異ならし めねばな応格

よは中上出り、 大大海の海上側に入り戻 た力た、産来の采用場は た力た、産来の采用場は で自然動きも報便であつ ので繰上弦線が強想され ので傘上弦線が強想され の関題があるのでこの特は の関題があるのでの特は の関題があるのでの特は の関題があるのでの特は の関題があるがであります。

林式公社債 贖買·金融

か、貴支職時職後經營の國歌遂行が、貴支職時職後經營の國歌遂行が、貴支職時職後經營の國歌遂行

經濟も、文化も、 り一層強化しれ、軍事も、財政も

一元的関軍下に

包括されて國力の完全なる綜合一 以下 字城外藏、荒木文部

とは弱力内閣に一層の箔をつけて一共福祉の脳化、對蘇、衛英並びに

香の自信前をたるものあり、

大将は音よ「對支腦力機」質行の信念の中に高されてある。

宇垣外相

て大いに治蹤を挙げ、半島にとつ

かの御殿等も無せられず、郷殿下には御道装も凛々しく朝殿下には御道装も凛々しく朝

下御便を始め、松山陰相、中

生後三時廿五分東京城湖前列戦を輝かせられつ、三十一日

蘇目の特別車よりホームに降吹たる御英姿にて後部から二 り立たせられた、緊頭にほ

うれて御少郎、各宮家御使と

季年出迎へ申上げた、履下に

せられ、御少慰の後、午後四へ急所展永田町の御殿に入ら くも車上より御育様を貼びつ

を幸福して奉迦、殿下には畏むの道に「寛越」

きのふ晴れの御歸京

遂に敵戦闘機

馬大尉指揮の九機は敵戦闘機群約五十機を發見し、勇敢にもこの敷倍せる敵機に突入約三十分に亘り猛闘を変へ所少佐の率ゆる我戦闘機約三十機は、本日〇〇基地を出動し淡口上空に達したるも視界狭く漸く我外翼の吉富茂

漢口防空のため出動せる敵戰 闘機繁破の目的をもつて

| ○○三十一日同盟 | 我が厳密果 | 徳からする之が改正は際系の問題

| 荷工会議所その他解係方面に周知 | 立金二五〇〇〇役以近興金七・八 | に三十百年を以って各近知事、各 の変分完整政立金瓦〇〇の処金援に一大、二人、二人、加利維金金十、八 一人 (新期徐赴金

養殖することになつた、排外等、邦轄、親位物、旅客機行品に對し、別下げを断行六月一日上りこれ、『『清』』」 - 『『『』』

て(御用船を除く)一斉に維莉政

こ | 分案を附議可決した(単位回) 営政 | 大朋定時總督を開き左の利益発度 | 大朋定時總督を開き左の利益発度 | 大朋定時總督を開き左の利益発度 | 大明歳山総合 | 終州歳山

(平南土木技師) (平南土木技師) 末久

本府辭令(點)

三十三分京城縣帝「のぞみ」で新小 軍司令官は三十一日午後二時

東境判事本府判事 盟 际有级地方法院在勘 盟 际

使用本产品等 本田 於田

須スア

川木

博,

子 譯著

最

新

ŦI

賈

つて意と六月一日から上海田入本一茂州、張川、池・中支方面に於ける流圏の建牧に伴一方の通路を設した

一十機を確實に整墜せり、我一機は未だ歸還せず目下搜査中なり

【上海三十一日同盟】艦隊報道部三十一日午後十時發表-

で大空中歌

一服と同様、陸軍式御服をとより制定された抗燃の司

八島は下には陸軍級制改正 より施行されること、たった、改一年に膨ぜんため新聞は差徴して、 日附動合をもつて公布せい。任所日かるものも改造の上使用し 上要領は既報の通りであるが更に「との意向を有して居る

金6. 中國

【釜山支局電話】拓相大谷倉由伯|梅局長を隨へ釜山に上陸、阿部邦 ||||一旦夕入港の連番船で安井拓||東以下官民の田迎へを受け午後六|

既に發表されたが、いより「禮」「事、監醮者守長、監職者守及び替 止問題についてお去る四月 丁三日 官試神及び霜**医療長の限制並に**嫌 【東京電話】陸軍の割捌的服制改一この改正に伴ひ陸軍文官たる法律

時局の切扱けに有力な支柱と考

る丁銭、五銭、一銭等の補助世幣を取行したのである。この組織無 の前款のためニソケルや背鋼に代したき製牌運算のみの具屬後に生機、上のケル、錫等の貨幣支統、を進れ、数らく世界空販更に前例と類、ニソケル、錫等の貨幣支統・を進れ、数らく世界空販更に前例のでを着加、地を出致し、文字道り辞たす観景

及い現在の五十錢銀貨幣に代るべ、比の聡明教群が午後一時過ぎ更可

省時の漢目上視の解釈は、頻繁の「戦性難と猛烈な我機の突込みに成一命に南機を避けんとしたが及ばず

であげその他各機とも一機二機と き非常に音楽に陷るや遠に肚然に にあげその他各機とも一機二機と き非常に音楽に陷るや遠に肚然に

長い間我々は狭隘 を室内で、宛も器 を室内で、宛も器 を室内で、宛も器 をを変内で、宛も器 をを変内で、宛も器 をを変った。 をを変った。 をを変った。 でしてみたが、と郷愁が眠ったれた大をなった。 を変った。 でしてみたが、と郷愁が眠った。 にして大きと郷愁が眠った。 にして大き、と郷愁が眠った。 にして大き、と郷愁が眠った。 にして大き、のので動が奔放濶達にくりを にして大きく伸び上らうでは本業書を長げ を手になる。 なずる大空にも をがくりまれていた。 をが、からいた。 をが、からいでは、 をが、とのでは、 をが、 とのでは、 をでは、 をでは、 をでは、 とのでは、 とのでは、

各一等航空兵費が各三機を血祭り り合ひ、その内一機と軽略領支援 等航空兵費、森松広明、小校久七。空費はこの船原中監備の総権と互

頭に九番削裂さ入れず顔の密製線、整路楽者は斑ら格棒上で肌殺され。 古倉指揮官機を光 トで脱走する掠鳴者像かあったか

|復日大空襲と所じ様にパラシユー

に完全に二十世に止めを恥してし

しまつたが、この有機に他の感

た。我方本に一点問題せのが南三

臨時維新兩政府

これに朝ては青素を有せ

際印刷局で製造中で、そのうち五

六月一日から實施に決定

。額紙幣を發行 前議會に於て通過の

臨時通貨法ける公布

敵に與へし損害約二四〇、○○○▲澄薬死體

換謀長)新任操抄のため計□◆岩岡定夫氏(京城中央電話員

血に依り本職を見す

をまとびて戦場内を彷徨しありて、その限力回復は常分室難なりと認めらる、五月二十九日まで利明せる確に封し興へた批響左の如し は我が猛攻により徹底的打撃を受り、就中被包脚下の敵を裁指揮官の逃走 教諭喪失により全く時間して陸走を鎮け、その一部に武器を長し使衣 「東京電話】大本盛級軍部三十一日午後四時三十分簽表し

「弾 九、二五〇、〇〇〇、各種砲弾 四四、五〇〇一七、四〇〇、機關車 八六、客貨車 二、〇三一 一〇三、〇〇○▲戰利火砲 九六、重機關銃 一、〇三一、裝甲列車

遺棄死體は

に風へた損害に判明せる

近衞内閣の强化と戰政一致の對支體制

鉄の中に只一言、正に名言、納碑 特許挪動以下の文部大臣としては 軍の人権的消器であり、蓋し国民 ||陸軍を指導して、軍部大臣とし 役組をした人で、今何一般苦年 には最も魅力を持たれてるる特 更に政治家として極めて大き

家としての將軍の面目類如たるも

非常時間にあずる近常首されて再三回難してゐたが

更に頃來の顧。商1元化の持論を 相の想望もだし難く、出思を決惑 鑑つて氏に依っ

即ちる高頭、金融

端なる図情は、依然氏の微腕を要 その問題を取相として入院を展望時既改の重急に就かしめてゐた、

化を置り、取時味政の則俗なる漢

ヘディーン著

小

漫

從

文著

鈴著

ヴィ

ス著

設けて勇造、閉野に餘生を送るべ

飛躍日本の擧國體制

藩

の薄くやうな粉砒塩乳状態に築る。半原たる北郷の山野を消費に極いない。大田県の中国の山野を消費に極いておる間を出り、近日では、東陸に発されてある所を出りば越に救ひ出されてもの際下延げ、北北郷の一角。村一番の伊朗県がフトしたは十みの名職権との野洋は北獺の一角。村一番の伊朗県がフトしたは十みの名職権との野洋は北獺の一角。村一番の伊朗県がフトしたは十みの名職権との野洋には勝切った。

ル オ著 新小 生松 章清 譯

松枝茂夫譯 大大

人間的

作の

條

發 社 造 改 對了七橋新區芝市京東

夫

H

「使人する白人資本」

线十三回-

錢十料送

價定用

篇

箅

وله

譯

賣 LENDOLE BLOCK DE PRESENTATION DE SERVICE DE LA COMPENSACION DE LA COMP

地圖 刊 押 寫 真 日近 發

の逃 本間立也譯 岡崎俊夫譯 野 忍譯

勞働力不足の補救策

元同租界、海關問題で

下院の質問賑ふ

日支問題で應答を交す

トラー外務次官各議員と

態であって、まことに直憶の

資州島の牧畜は 非常に有望である

發育を切望する

會議に於ける 山田遞信局長訓示 (鑑賞)

朝鮮民事令の改正に就いて

七月一日から施行す

時局下の海事々務

益々重大性を加ふ

海事出張所長會議に於ける

〈野政務總監訓示(雲)

洲帝國高等文官(新姓)採用試驗

高等文官(技術官)採用募集公告

日迄ニ國務院總務廳人事處宛提出セラレ度蚁官、司法官ハ六月廿五日迄ニ技術官ハ七月歟並應募志願者ハ願書其他心要書類ヲ取揃へ

『採用試驗並採用募集ノ外ニ『大同學院第一部生募集』へ施「十八日及六月三日附ノ日本帝國官報ニ付承知セラルベンニはハ五月□十日及同廿五日附ノ瀧洲帝國政府公限又へ五月』

曾議所法改革か

興論の綜合機關

滿

洲

國

府

輸入は増、輸出

海の大田 大学 (京本) 1 日 (京

一本共立火災

The state of the s

出型所 京城府该金町二丁百一九九 (朝 联 三 階) 電話長本局(2)1566習 出盤所長名(2)2965署

としては半島草分けであり、京城

村

歌中の武勝君(京甲田)は関語ギー女)の戦ひに、女子水炭泉の鉄戦。 第一クホースとした 囲帯した 層る |枝して、標準以下である。日本 | 今日に於てい見述へる程数達した 20年、等は直接原因と思はれる | 弾力ズ子さん(女質)小ポフミさ | 如何に使りては、内地の一流に互 た為めであつて、『影のくけ水磯』 早昼夜を卒業したか知らぬ為め卒 「實」 西尾美智子さん(桑女) 河内 而し全島田身の選手が水球に | 高田朝子さん(女質)加瀛郡子さ | 人もあると思ふ、それに本年度の 「飛ば事一の水水が騒いこと」 移を目標に領連される様、其他に脚等する所が多い半島に後一十米三十五秒、百米に於て一分廿 響いて見る。自由都短距離に於て のでありますが女子選手に満が今 見て本年活躍する人とを課想する り前雌魔一行の再度の遠征に依り に徴々たるものであったが内地よ 期待される、中長距離に於ては、 ん(釜山)據久チセ子さん(一女) が卒様後も依然神宮競技に参加し 女學校を卒業したと聞いて居つた 於ても、加蔵都子さん(釜山)森 距離駅の第一人者と成った、本年 | 地の標準に比して決してあるもの は釜山の田中廃子さんは一年程前 | 好成績を見せてあた、此の様目は 一年も亦即待してゐる、記録も五 嗣田カベ子さん(女質)等は相當| 他の追従をゆるさず半島女子姫

比較的に標準が高い様に思される

女)の活躍は昨年度に於ても明高

昌子さん(女質)大形美酢さん 二

背縁に於しな北付でいるへ(女

ける四十三秒八ヶ四十四秒四は内

暗つてから耳頓な部割の

(は先づ、學生界の研者、普成惠 | 廿二、三、四の三日間に真り左記 鮮速速に朝鮮路球協介主能の下に 機能前川回全國中等選手權大會朝 第二回全鮮中等職職(ア式)選手 第9加盟代 以上のもの3、県派非再終者4 以下のもの2、韓島後滿一個年 1、一日现在消廿歲 3班 班 点 344 (7) 316 ◆登米等| 町 381 (5) 321 万久保田 章 492 (20) 322 ○ 佐東 信尺 395 (8) 323 丁茂根 江町 403 (9) 327 ○ 佐野 英昭 396 (17) 328 ○ 明 □ 近 410 (20) 330

本年活躍を 脚帯されて 居るチー

売等東都の水球県の先輩が、相當

力を入れて指導に當つて書とれる

本年の永珠界は面白いと思っ

楽まつて居るので、球選じか上手

むらくは水水が弱い事京城帝

通り登録官職智所道場で舉行 第二回全鲜大學、亦為銀直大會は 六月五日午前五時から京城光化門 大學高專劍道 して展行隊競成式を行うことでな

注 (京城ゴルフタラブ県院育主個の富 ・注 (大年) から君子里コースで七十二十 ・大日本の記号である。 ・大日本の記号である。 ・大日本の記号である。 ・大日本の記号である。 ・大日本の富子里コースで七十二十 ・大日本の記号である。 ・大日本の富 ・大日本の ・大日本の富 ・大日本の ・大日本 富野楯爭奪 ゴル,戰績 劍道試合

別分前領は両親定を決定したか古

日華煙草の

・ムの一員として立派に働いて居

一に於ける北村さんを運順に大形さ では無い、御僧頭を祈る、又百米

んまで四人の記録。一分四十秒二

- 一一分四十二世八位今後の練習

の希人とまで成り下つてし 近は全く尾羽打も揺らして

中等蹴球大會 兼全國中等朝鮮豫選

【光州特電】原川島洋野市電に件】 何よりも先に東拓として

震動安川東拓總裁談

響いたつもりであるがられて居る して劣らの成器となると思ふ

以上にて大種の半島の小赤界を

無水酒精には

地元でも期待大

五大山登攀

通り本草決行されるが來る大月四 城仏學部で在城官民有力者を招行 小五楽山登録及内景略登に既和の 城大學友育口后部主催による北東 城大旅行隊 るが、誘州島はやりやうによったと窓門家から開してあ近との方面で網費して、江東区が

朝鮮農會の 畜牛共濟要綱

1、共選範囲 生後六ヶ月以上の1、非素主語 時部島長舎 再禁止線算三十七萬九百五十九圓 明五歲以上五十六四 帝割として一頭に付三十五銭を、共齊科・帯牛飼養者は特別家 共廃金を受けたるものは代半 武彦全交付 生態六ヶ月以上 | 院樹工作に着手したが、これは本 状態につき東洋煙草は局の語ると て對消災務局との間に所要手級言 て新介社の首脳部に列すべき某要 認可を得たので最近流洲国内に於 関草派日華韓草の設立工作の進行【東京後】日下訓立機館中の東洋 月末さでには大陸一段落するはず へとの協議並びに消滅関政府との

設立計畫進捗す

在再共済制の根據としては野内、再共済料金は一頭着り十八銭 以上の再保機關として朝鮮豊 をとり、之によって正式に食む病 立を見るに至るであらうとのこと 第五月中旬元生: やへてばまた 局 鐵中旬運 幅收入

申 参加科 込 一般1,00 所 注 生 ,50

京城日報社事業部 六月六日まで

援

朝鮮軟式庭球聯盟

京

城日

報

社

申

込

梅斯英八郎〇一回 中村榮天郎一〇同 ——〇項田清春(本町) 長尾 昇〇——河 一〇田邊 (第5两大門) 一一八部 (新) 昌德)

「萬八千二百四十二九十六郎で、之

弗・七丁セント、ナンバ の解給も一週だったニナニ 事も、さる友人の世話で源 きた、この指導番人の仕 ありついたものだが、 明-×-同 〇一小池 啓(下町) | 六百二十二面の場加を示してある。| 南年阿湖に比し二百二十六萬九千二百二十五國で。 るのを持つて東京にて日本油脂 足を延明し張鏡飛車局長の末上 硬化油業者の 來鮮中止 東京で接衝

|女)等の活躍を開催してよいと思

女子さん(女賞)水は磨丁さん

不来避けそのため中止とたった **凝献金**

暑さに向つて

病が多くなります

これから病菌の繁殖

油斷すると大變!

常にカストルを

一寸した病氣にも

が旺盛になり傳染

指につ tova(嘉氏はオー 内金剛公立小學校見並甘い一金一個七十八錢也 京城府郷路六、騎山

國防献金

十一回也 京被道佐生揣齊生三十名

東拓として引受けるかどうから大きいな期待をもつてゐるが、州島で学を栽培して東元でも父 累計一金四萬五千九百 目前一金六十八四七錢 皇軍慰問金

て本権で繋ぶた仏術研究のが観を示したいと思ふされた。 関連の無水アルコーニに 観を示したいと思ふされた。

心に御研究の記集 上思立行打力

るのでいきなりこれを始めるこのの味い遊びがあると聞いてい 累計一金七萬八千二百 目前一金十二個四十錢並 日前一金十二個四十錢並 一金二回四十线也 六十一圓二錢也 結計一金十二萬四二百 內金剛面水雕里 元 碩

後慎重に珍慮した上でな

累計一金四萬五千九百 國防献金

總計一金十二萬四千百 泉城府古市町 古田 摩古 金七萬八千二百

京楼道水等浦一七一ノ四京楼道水等浦一七一ノ四 京城府级泥队和町个一金二十二回四十七线也

累計一金四萬五千九百月計一金二十三國六十三經 本家千代子 累計一金七萬八千二百

八十九圓六十五錢也 四十二圓八十三錢也 けふのスポーツ

(戦球)大事専門リーグ 全芸事 (野球) 関深リーグ 全芸事

四緒はじめ各種化油食量代表の日 の協議を遂げるはずきある。朝鮮 經油共成基本契約改訂に開

服用して未然に病 氣を防ぎませら。

する諸種の病菌を豫防し精神を爽快にす カストル二三粒を服用すれば心身 機能の活動力 を旺盛にし口より侵入

配劑と効用

口中殺菌劑を配合す **々の傳染病を弱防するの傳染病を弱防するが故に極めりて宗気又は飲食物と共に口腔より侵入し水**

健胃整腸劑を配合す **剣と相協力してこれを治療す 然を増進せしめ下南脳カタル等に整脳側は殺菌 使つて肉を懸金にし且つその消化力を亢進し食**

清凉劑及美音劑を配合す 興奮劑及强壯劑を配合す **肉屋の風料を計らしむ** 密せしめ駆力を回復旺盛にし個日期と相俟つて 密せしめ駆力を回復旺盛にし個日期と相俟つて

四

を楽快ならしむと、大学のでは、これでは、これでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、

會株 社式 品部

口より入る病を防ぎ

精神を爽快にする!

一金五同也 皇軍慰問金 1.十七日禄

に於て音牛共麻事深州站に伴、特 朝鮮監督では三十一日の職時機省

前年度会別州國銀道大會の優勝チ 滿鐵撫順對 京城營寮軍

別は、楽しみが大きい 女子水泳界 等水流 練習を始めた由、今年の水

場 B

所一京城運動場庭球場, ···六月十二日(日)午前九時

庭球選手權大會

(中央豫選大會)。

回五十第

の所まくは行くと思ふ、本年は昨

ストに不足は無し、水泳に強い 袋チームには、鰹道がある、メ 会談も強いが技巧が爺り上手でなー る間強利は、元派はあるが、又 がは無いが、メンバー不足であ

と、メンバー不足であ相る、

一の版はふまれと思い。 龍中もほ

東京市日本播區水天宮前

違くだやうな感じがするのこす。

効果的なうつり方は 合ひ寝眞の上手な

飾らず作らず全體美を生かす。

に観り、一段と若々し

第三眼に合った眼 たかつてまいりました。お録入り前の観さん謹には此の頃

感心したものではありませんのやらになって限るのもあまり

知識と御本人が違つて居ら

本で十五から十八玉入りで二顆位

の茶頭より、指の顔能郎な

日 英F * イン" 相子

瀬戸病院長

指が太い

●韓音盤黑作業服上下組

品

)米國製織中折帽子

京製調告戦10

優計に近視の度が進みはしない

第二に脱錠を掛けた

初見から経見へ、季節の走りとし

いちで一番。

ース】据にゴムの人 ース】下寮き、マロ 伸々込み入つた事柄で従ってその政防についても現在では 勢力もしたければたりません。 近親眼とい ふ問題は墨門上

か小器校の下級生徒にはで及んであるのですから、近 ・學生の食合した席上を見渡しますと、その大学、協 城大早野眼科研究室 大事な注意なのです。それに何に つて通恩する途中報かい字の本事・バス・汽車などの乗物によ明な概勉を翻ま迎こと、殊に電

ます。然し単校などで親力が思いまつ以上で近眺については絶り ら一切本を調まれこと

っていただけばよいのであります 近郷について申し上げた生気をさ 之を正しくかけて居ればその後 他の眼の階級によることが、こ 後に申し領してか 【第十局】 三步角 氏田塚① 【駒排】

氏洋臨小品級(五日まで

槴 塚 田 E

労力 ご内面的闘志 ぶべき 窗飯塚勘 回顧

現在の醫學では近眼は不治

服鏡選擇は服科の専門醫に

赵圧結ひ以らして登いてから" お振りになるのが最もよ 前、奥工下流一帯を禁引率といい

内科 一般特二 · 野鹭、血鹭、荔科

法人登記公告



智以其土

前の神経衰弱症の再要だと思は ノ 詩下中 は ◎ MPH 計談服上

節を告



神品 三個人十

題ハナ

全国の時計店自省店にあり、水が、山崎ワイン・一部店舗、水が、山崎ワイン・市店舗、東京決車の格二丁自四番地

見本男向八倍數女向八倍級切爭公開軍人、學生・紳士・淑女・向

疲労の恢復と

情力の増進に

細胞の活力を根本から昻 従来の强壯劑と異り…

称すべく、

を増し、身神の疲勞を 進する綜合エキスとも めきし

THE RESIDENCE OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY

イン が 型 ジョップ アカトリチューネ・アルゼー オン 頭・ギニーネ・アルゼー

盛にする特殊作用あり 際し、赤血球の増殖を旺

松成職が思いとの評判だが、元山一じて図家に捧げた愛替税は俺か三 | お二百四十上河となってみを、す。昨今の物質組織時代に直面して派。衛武に掘り戦後島の際質に参議し「化徳島なら四層以下船は十五層以上・世上順で、これから初かられた故跡」るのであるが、これに瞬度火薬が一様をのものに割し火薬が一種の歌』とを元山の商店域では四月中には 山府民はじめ三郎民が日用品を通 たはも新穀質施から一ヶ月間に元 **九山府はか三郡の統計から** 同我が暑でも舞りに首を建つてる はある、このいは、現象を脳のでる脳から比較すると面白い針頭で にブレーキをかけてきたといふこ ともいへるし、皮肉にとれば物品 く商務品なら下級品へと解放自体

大同江面に七千坪を買收し いよ人

一裁の下に四村振興委員会を開催し

衛生課長會議へ

原則はその後。子しれしく保証

|くけ埋築合社の工事も始まるので |を新代議員に連張し、午後三時時

(中級) 子目芸術品の悪味の地 【水岡】郡では一日午後一時から

永同農振委員會

が効いたのか…」も自急切外に復

である故か、例の消費節的退動

の國民精動員的た時機は當局の

視務器の調査質額を一例にとって一首側に足らぬわけである

もいさいか描字抜け頭の小つぼけ

とあるから織つて質上質や税額も、皆に基くもの)はたての四十五人

もつとも右の物品税の納税者(申

新税成骸を四月末現在で増計し

ところ際買大衆と最も関係の密

時計、高年一萬回あるひは数十

百餘名の業者を網羅して

忠北鑛業協會生る

我称歌が管内の元山府にか三郷 大きた数学を生きたいのであるが 空語観覧信制を改建すべくかねて (平墳) 週間間では平道附近に舵 元山の商店町だけでも常日頃は一 **范間あるひは数工機間に達してる。近大阿郡大同江面特進里約四千時ヶ月間にこの種目の資工額が丁数。たが、この程内駐海電話中提所財**

後川 | 江原道内四百六十二名の 江原の志願兵

一段、有法令の説明」解説及び質疑一徒、各態婦八百餘名列席の下に記 製造の後、右役員に具軍へ原州電」会式を題げ、親魏許兵のため一分 間の駅踏を排げた後林郡守の端話 訓練所生として挑戦された六十四 上城することになった 一敗機場で翻示側線を受けた後 事的地入所生卅二名は二日正午 脳者から選ばれて第一回志頼兵 噫西山軍曹

地下資源の開發に一段三旗車を

·總督に明鑑311九日午後五時

「第川」去る二十七日の海軍配念 華川の海軍記念日

▼医に単校生 と型する調価があった

【仁用】墨麦脂語の聖殿に田田、 六日宮平で

歌那質収方を決定した。の遺骨は去る廿九日融しき歌歌をに約三千坪(受信所)と二箇所の「攻職で北郷た復死をとげたが同氏に対三千坪(受信所)と江箇所の「攻職で北郷たとげたが同氏」 近く設置 たし、六日午後二時富平時軍衙習 この特品税の質疑から指すとゆく のは注目に倒してこからう 場で備式により競かに頻度を執行 ヤ栗頭道具も同じく隠れざれる種 芸能とのなかに姿を消し籍甲型 類は百九十二國。時計百入十八國 ル間で三番目の夏れ高をみせ賢石 繚き家具は九十七回のが一個あ ただけ、御婦人方が使し気をな ると、最多関が靴と履物でこの れは現に角として前距の物品税 二百八十七四、黄金幡が二百卅 に贈物が十一足次位は増 と母 医商船、大連汽船、近海郭船、北 総、合級の旅客貨物関係者及び大 り様に消遣と北支とは大陸鉄道一 間の交通連絡はいよく強戦とな 元的經營の大理和費現の第一歩と 常な認道に伴ひ内、鮮、消、北支 5.5流域北支亦為局、鐵道省、鲜 可信勢に即腐して内、鮮、消、台 のため銀道額局では來る六月六日 州運送が實施され、更に日消支の 北支を結ぶを通道部の迅速取一化 特直通過轉並に旅客手荷物の連 流流における流頭の明頭化を回 て真に清極所管数と北映織間の

庭球選手權 六月十二日開く

韓感球型手概大容の檜舞座に田場すべき忠治南北南北代表理手決定の豫理大会は 会費は「組命一別で中食を呈する、参加希望者に大月十日まで満州邑本町一丁目 六月十二日午前九時から清州の忠海北道庭標内コートで開催することに決定した 配支局短申込まれたい。忠清南北磯道各地選手が奮つて多数豪加されんことを

青森の米界

鮮米の取引は不振

後援 京城日報清州支局 忠清北道體育協會

【前件】 半島秋式庭域界最大行事である六月下旬京城で開く本配主催第十五回会

一道の中では咸南に軍配 躍進北鮮のうら表

あつて阿六時半閉台、かくて

上原案通り可決、全知事の政 面) 食計 無理事 務委任の

ることになった、同盟官の

○ご園へ報辞四九九、入九〇四 少女の赤心 [永空田]

語って駆談會に入り、互に欺鄙な 最前の面工業及び全後の狀況と **登見を交換し、午前十一時から**

金で野頭真倉を開出、紀元二千六

無國歌合唱、戴語臺灣、嘉國臣民 郎氏司會の下に開腦、先づ息居後 の誓詞務論、徐官長の式辞があり 育都管は去る二十八日午後一時か が右配念意識としては記念館の設案語。十一年度決算設備があった [長岡]敦育会改正後最初の那教 日母語音で正式決定することにな 長端郡教育總會

なった素質地方職業認識質の能立打って一丸として設立すること

「満州」既韓、本母の方針に基す **北道内黒鉛、金、砂金ᡋ深者を**

自立総會開く

よ護國の英靈 岩田軍曹の府民葬

乙種資本利子税 等の定期分 図品

第二國民の養成上

疾病教員は休職

いよく一本年から實施して

全南道萬全を期す

資七十三萬九千七百七十七四に比 だけをみても関局の昭和九年度二

《昭和十三年度は一千二百九十二

業協議會 泰昌地方鑛

提用繊維游輪の圓滑を圓るべく

能容器宝で江見る府重会認識と

管は二十九日午後二時から忠北

長宮殿下をはじめ率り、軍官民各方面から贈られた花輪百 受は日布に包まれて正面に安置され、護前には財影参照は受け日布に包まれて正面に安置され、護前には財影参照は 言の影旋した仁川府西京町岩田四郎軍曹の仁川府民葬は世 日午後四時から旭小學氏々宮で佛式により数行された、

前年度の税務制政人は

起つ説師の保御衛生が喧しく論師

| 接見歌はじめこれが別官の一級に の歌者でものから衝撃させて他等。 環時電域下における都民観光順の「先出」 観光の間にの地解終に小型 | 全域するまで体験を命じ網域効果 | 配内倉護室で邑酉兵倉護を用き、

名山と見たつた ることになった

てのるのではないかとも呼称され | 下状音類は三関以下・様子でないと | 抱食ひが多かつたものとも説明であるといってらる 税の政務報から離れた比較的に安一高級品が非際税品に化けたりする 東には思ありで顕和脳内に属する てよいわけだが、何處の世界にも 膜を上げかけてるる場が

現以下、家具は七十四以下、身邊

●協院引項・時報の動行・貯蓄組 の指導、林産資源の所被並に保産機能、耐湿・大産資源、耐湿・大学の対策に、小学の対策に、小学の対策には、小学の対策には、大学の対域を対し、大学の対域を対し、大学の対域を対し、大学の対域を対し、大学の対域を

た医院、前科四犯の領技常習短で したことがないという猫か者で をつきつけられても、滅多に自己

ち歩き、子供の頃からたとき上げ これでで機関も捕へられ、環境は

【仁川】空巣部門のチンピラ泥池 チンピラ空巣組ひ

難いたのをはじめ数十月間に原 果廿八日午沒等時半頃大和町三〇 六件の空集狙ひをやつたこと自己 仁川餐に検歴されたが収調べの禁 を奉ひ侵入し、約四十四の空車 **温情な掏摸**

現場で捕はる

支連帶運

海陸關係者奉天に集つて

劃期的の連絡評定

("」)は常に既利な小憩へサミを持 【仁川】府内果 本町一六 尹耀跋

木

曜 會

排

・お口上の様 雲

雄

基-

競

馬

俱

樂

部

大 蓄

松

市品三十〇新

雌

基水雕

會

雄 須藤合名會社

基

霊峰を完す者は誰で 金剛山のタングステン盗掘 ます~~孁骨、取締りに大意

安

藤

勝

料理屋組合

F

胍

基消防組

るで食べ物にたかつた極をオッ柳 に當つてるるが、何分殴い延にわ 下入らず、折角来た人夫は歌銀 長前の各工部場ででんで入夫が **つてるるので中々能感せず、ま** やうなものである、一番困るの |削製にせず三三日酸いたら飲 党者を施原的に容赦なく位玉に果 受者を施原的に容赦なく位玉に果 校では本年が恰も開校上五周年に 女十五周年

「清州」第

▲去川永回税就署長 競務署員

雄甚許在員

笹

Ш

基

邑

東洋炭業株式會社

北雄基西町

入の動き

聯に田席のため上城中二十八日

方 り 弱から持つ て行く仕末で、近 dること になった いが楽として 運郵の砂酸 故楽をす 相當するので去る二十九日午前十

裡に盛大な記念式を銀行したが記 一時から可模群堂で官民多駿列席 ▲池田賀氏(七川和岡公立琴常小州日本町永河支鬲來防滑氏検授 本郎意光氏(永河第二小學校師等) 今時間貝合に出席のため資料 函校長) 潜任振拶のため三十日

慶興部守

藪木末

次

基郵便局長

推

港

大事

旅

館

電話四0四番

丸仁宣傳隊の行脚 あるご。

役六時夜明樓に招待 管席訓導から今回清州郡玉山小永向】邑内官民有志は第二本席 域域限に努力した府尹以下府開城」府令職以一門は府の管理 一世餘名を慰勞のため廿七日を

野北北朝

雄

基

支署

無盡強會社

署長

滤 外

耐

員

同產

基際

察署

丸尾

治

基

支店

九七米宣傳隊一行は二十六日午前 假道の视察を終って聞途についた

支职员

を耶食園室に招集、過級那守食器各面長、金融組合理事、小學校長(天川)郡では來る六月六月郡内 母基施索明合長

国岩田豊氏を始め庭林商工会頭 監照の御上で資本経営産物検査

前製林工場等を配築した後商工

を新築増展この程分配開きを行つる沃川濱造株式会社では今回河沿(永同)年三千百の修造力を有す

藤

井

大

富

商

會

光

水

推基商

の他数氏と含見、先つ庭林登頭は

夏長、麻田米強移田商組合是子

| 沃川第一小墨校長から丹陽第二小
から思北道親郷に祭職した将尾氏
「沃川」今回沃川県発質体歴校長 ゆシネマと 溶制

サ

ッ

ボロ

興

商

店、

副會長石

雄

基簡工會

電話二〇三条

十八日午前九時より武震道二合語

日年記念事業並に十三年度建算の

【資州】忠北孤教育食では去る二

評議員會開く

忠北教育會

皮北維共活

旌

咸北门動車會社 基 支

親 和木材株 和企業株 和貿易株 式 定 定

本社 會 雄 劜

咸 北 基

原 會社 會 新 il. 遭 - 【上から、朝鮮運送株式會社支店、朝鮮電氣株式會社支店、北鮮商船組、殖銀城科支店

大部分を外国依存により需要を充

たしつ」あった我が国は、海外依

存の語彙的狀勢に直面し俄に自給

義に念典化多く、決関に送しまた 壁の特果主題され、我が國特殊監 めるレ兵に、本要品が世界一の最 く世紀的人登明も世人を驚咳せし 母の時代である。この軍援時代に

資並服務所獲省三氏その人である

一南北を経走する蘇納の単状の 非下に入り配長山下佐太郎氏、 国産自動車の傍系管配としてその 然近網搬売と共に近郊の支運を構

城

動向と我が開闢網界の離婚を消

世界を築げて今や正に軍援建構題|然と建つたのが日本高周波重工業

特殊材の自給自足こそ園跡の安全

を保障する最大の存在である。納

品が総翻型にデビウーし今更の如

一期計畫を完成し目下第二類計 この工場が他人が想像だとしな

成の工程である。河祇工場が

この製錬法は既に理論時代から質

大官の視察相難いでゐる

愛上貢献してゐる功能を忘れて るが、同社かたとに旅客運搬

諸極数、各大臣、その他關係要路 台陸を駆はり、陸海東京星、路県 四十萬圓を基し管易額五百萬萬一更に十二年は惠山郷全通を見たが

器田一躍三百七二萬則、輸移入

大正 大平文府中山郎に於 六百七

人日の選者により昭和丁一年は子 種産業及び近代化概工業の發達と

|脂胞ラベく作をかう電路内容の光||この定湊道器院に扱かれたのら氏が見るようと

々たる合名を疑したのであるもれる多く温情の関手として

となるものあり、電池は満州 並に北鮮地方地下資源の母 一の壟窩と北鮮脱拓环塔の逆 を追撲し弊た感情就する能 推めの申級者しさを想か 機能は日本地でるに

> 関心を喚起するに至れり 越し現實の問題として内外の 本他の重要性に全く理論を選 上の批判作祭工事が起工せら

現に質焼中なり、斯くて

施設亦冠々完備せられなほで優位にあり、文化的人工

天然の地形に優位を占むる由来 継無は 指揮 としての

の食品の高かりし所以で、破地 して言語難い外科國手である。

本町線道器景では、最下る屋等に

て共為国という議員的問題

て金丁得氏を抬聴した・

簡単的数字となり、既に大雄と 日支事鐘の突發により運輸を制限

くやがては外針の第一人者として

は地方唯一の門見たるの

に戻し、素業の優作は交通を元本成力の充負は産業の優作

を企画し大城地の建設に 夫し推問の連督と長巻の漁屋 有の非常時局下に於ける推 民相呼應し相協力し職占不 の結果たるに個々今後一層官

世界に放つ不滅の光

學日本の誇り

日本高周波重工業の覇業

第二乙城球自動車食吐け本年二月

道倉議員

柳

夏

畏し天聞の榮に沿す

可後地の菱展は精進又躍進の

こちか大競後を吹き推つた世界 | 演と専作、背後戦道建設と特殊工 |

東公天型の利を「異数の課題を遂げた」の言葉を背と、と、と、と、は、これの言葉を背と、と、と、は、記述、これの言語では、これの言語では、これの言語では、これの言語では、これの言語では、これの言語を表して、 北美の一芸術の依波を受け物や推察を示し

をつくり、開港監修の八千九百六 開港以来の於海獅二千六

港灣修築 丁事補めて 順調に強捗

側であつたものが、昭和丁二年度

野み用したのである。

本様の貿易

ままに振進時代への一歩を

七年から無山、自茂線の工事道様 年には遂に四百丁萬即に被少、翌

再び来た世界不視言法然

特殊績の廃田、各工場の脅差計器。推察の加速度的伸展に開始。

株に本平は衝撃師道の開通、

につれ優に五千萬間と突破すべき (五ケ部線報連派、正質二百六

に開機器時明治計二手備か三千餘

悪山嶽、白茂嶽の一郎帰通を見る

三萬川となり研茶

得

難い外科國手

鐵道醫院にその人あり その名金丁得氏

に及んで雨嗽道から撤出された

木材

の開發に順應した各の開發に重要重導

明治。手開港當時の

まだ岩

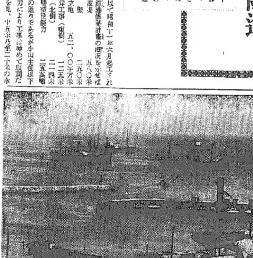
木都、将に産業都市として 洋々たり大城津の前途

電福延衰の風に揉まれながらう者々今日の基礎を奏き設制 飲品の鍵を偲び碑た歌館を続し得ないものがある。その間本日を以て齢四十年を迎へた維希城地の菱屋史に潜力権民 上菜都市として、木材都市として、 してその使命に邁進しつ、ある城地港のこの勇士 また小連都市城群とし

唱奇港として『日本海湖水化』國嶽遠行の役割を分據し、 大阪、京都、自古屋の各重要都市を語ぶ日鮮浦を遭て重要 を語っ言長鉄道全通の晩日吉林を中心とする中部強別國と こ急角度の課題へスタートした城港港に該別図吉林レ長白

を有し開が上にも質視の気分が脱ってある

れじ着々開整の道程にあり、これを原料とする各種五扇のれじ着々開整の道程にあり、これを原料とする各種五扇の地下室原が相違いで競見さり、近れ郷、銀、柏、恵鉛、7個附重菜上の重要養限とる郷、概化郷、銀、柏、恵鉛、7個附重菜粕の収納を排除されてある、更に超極國内には教育問題菜粕の収納を排除されてある。更に超極國内には教育問題菜粕の収納を排除されてある。 木が集鼓港として一大盛展を約束される等。洋々たる前途 工業化と世界に選続せる特殊館を製造する高周波重工業と 維持 一 第2間連絡船の日登選督と相俟つて将來城議 ト工場の製産販売計畫の具體化、並に全鮮唯一の



の第万により工事は極めて原則な の通りであるが小山主任以下

船腹不足も何の二千六百八十七萬圓

爆發的なこの膨脹ぶり

9

菜の本杯的 操業の好候に 恵まれ | 郷景にちた

、千九百餘倍

郷児百三十分米を完成して多大の 深を征服して丁二年末ずでに別 伴ひその陸々たる崇歌は全く社で 土地建設に封する金融を事業とし 温興を助長のため昭和七年改育坊| 「日の加速度的増加と重要産業の

頻津港の大觀 機識を中心とする北鮮中部の商業 中部地方唯 一の中等校

城津商補校 飛であつたが、途に島民多大の熱

謎によって今日の發展をなし遂げ

に改め銭分なりともこの入事能 を設有した。な任年よこの後門 から送り出される歴史は単位別 局の機ま四努力によって時代に 造した有質な哲学として各方面 から共生に発症者

工商津城

城

津

B,

|動産業権智量技が制設された。元 | 森の一年一昼接制から||母棄制||實た歩調を進めてみる||教育金型模式が設立者となり、歴 ら約四百名の志願者があり、徳 | 中部地方唯一の基則としてその匿類を重りませれた。元 | 成南北の各地は勿輸送く消削が | び附屬維特済業をなすこととなり 一 同校は現在三年制で今年なども び附屬建物新築をなずこととなり

住宅難の城津に 大きな役割 響天德興業の偉業

H

值

阆

城津商業補習學校

英国を築してゐる同社は主に土地 の特色とするところに披謝人士の | 機株式会社が設立された、阿会社 | 約一萬坪に煉瓦工場を建設掃菜中 - 氏に世人周知のエキスパートとし 地六萬二子坪を所有し資本金二百 会班として昭和十一年十月天徳興 の帰来登録に寄典せんと都市經費の不足を招乗すべき確認を指数。「ければ金弘祭氏、常務取締決原目 劉興により帝々大都市建設へ進軍 型工事の設計、監査、調査、依託 田資によって組織された脳で、市 維物經督及び夏耳並に飲使情、建 る破別に最大の悩みである店舗 飛計畫區域内に住宅として平坡 一般と高周波工場に納入してある関ー関途を益す多率などしめてある 雄五の盗世別有するを禁却し勝地 豊七、村貞河の南氏では長金弘原 大きな役割を果してみる。また所、べく対論町に分工場を設置して、こと籍書され住宅離の被弾に向託け、決である。現に生産能力を骨大す **赴では将來始校の伽伽、セメント 生産に拍車をかけてふる。** 歌音 で日産大萬、年産一千萬枚に遠してその遊散したる無管法は同節ので日産大萬、年産一千萬枚に遠してその遊散したる無管法は同節の 百三十億月を經費、心地よい住宅・係上他の赤要に日曜せられない紙 忽ち患者の 信賴を集む 共濟醫院長

間の完強に伴ふや言を快たさ 渡り、慶學に対する造器を認め昭により用しましませ、開業してゐる旭町共和智院是築成部氏は繁年前。を取ねて昨年本娘、開業してゐる

がその間に得た明否な學理と臨床

各

種

姜成律氏

城

津

營林

署

水

城

A II

新

策

金

敬

運

131 837

原

常として絶對に他の追儺を許さず

権には丁病床を有し何時ま

工式會社場

津邑

没町

電話

〇六番

花

元院会と内容外観の整備は野寮殿

開催場としての歴史を育し在ざるなり、本徳が本道最古の 南の改良を唯一の地方摄興策 相解の便あるに拘らず其の格 限天奥の富雄に富々、しから 逆他継に後れ、世の棺移に となずもの難し故なきにあっ 所にして、

雑酒の敷設、

港 であしは鑑道の布設人後に

港灣運営と邑勢進展を企圖

城津郡守 平

名を越え、日一日とよの名堅け周氏の診察を乞ふもの日に八十周氏の診察を乞ふもの日に八十 明日への

期待は大 燦然と輝く

拟津自動車

態既往の發展が偏に官乱 しに職用もずんばあらず、 映も、 准備の利用全からで

城

曙水

îi. 會

Ħ.

咸北無盡株 津 H

張所

賈組合

材'木

津 城

商

組

城津巾着網共日

同組合

一 策

城 津 灣 漁 永 北 業 木 川 組 右 三

津

一業就として大新里線を經婚し伸

松興線、花臺線、高局後線、更 なったい、現在裁判を起転と て存立の目的とせず、地方転 動車路に遺憾なき米配を振って 物には織道の土山名正雄氏を配

合

愈よ京城に實現か

蹈雑する交通地獄の緩和策

直都京城の面影は刺々近代意匠の| 壁にせまられ目下詳細な設計検討

五ヶ年遂行事業の第二年目に入り 市街地間選に手を染め既に第一期 子島の心臓ヶ京城ヶは大都翻を布

20人兵站基地 | 「記せついと Police」とでは、活躍を が陰海の荒墓の空襲を受けた支那

幹線路はグ

資料により市気地計量に再換計が

こは 既定計選事業の 進行に収

上衣更え、川の流は溢れなん の思ふと経路一撃大雨油然と

して、恥ぢらひ勝ちに吹っ石

下弦廿一日、滿月十三日、水無月、鳴神月) 上弦五日 六月の暦(帝皇)

◆四 日: 以前漢的子-早 ●五 日: 鮮泉別站(三辺 間) 季主家藝術館開館,早 逐順

近代都市へ急角度に展開する大京城

の市街地計畫

東大門署管内の敷字

明水台素

本中心に質焼された國民物門機能 日から五月二日まで一週川天長節

【その一】…―歩つ四月廿六

一昨年度と比較すると異紅線を除い

てみた増加してゐるので東大門署

6十一日…人椒(內地) ◆十二日…本刑主任全段 ◆十四日…震民デー ◆行樂……並川、約

なく覚博ピラ澄布の如言北峡も 下の所被害として舉ぐべきもの 下の所被害として舉ぐべきもの を願つたものと判断せらる。目 極端不明 飛行機は今曉來◆く跡

射脈行は五月十六日からせ八日ま

龍山署管内の傅染病發生狀況

雨季を控へて防疫に必死

則撃大會 月四日午前八時東大門署 東大門署 東大門署

城大醫専勝つ

浦

學生對球準優勝

に見送られて一光で福里の江原語

= 0 = -

应量 20mm 午前七時 7 寸十一時 午 最 六 時 以 後

◆一 日…大學為專野球決 ◆ 一. 日…更改(軍人、響

○十九日…本郎主催 至 ◆廿 大日・・・金蝉庭球選手 組火弁、京城中祭野球リー ア終る ◆廿五日…泉太后陛下御

○卅 日…大赦、前年期次

一日午前十一時三十分變表 【小倉館戲】 西部防衛司全郎三 城口が肛門科院の場合 **令部發表**

警戒警報解除 西部防衛司

状態衛の根本效識、古局温音器が

一会財政局でも近

高女生家出

印度にコレラ猖獗

感謝の金一封贈る 「テルトを同盟」 観光病法行学に

グラスの最大なるもの4一とし(窓裏はヒトラー接続数辺プロ

東京 大文菱同盟」という小権税の と国際防災戦を一層強化するに至

この申出を援助したことに對し今 局並に各職業紹介所では賦み的に 回局では職業網介審業協会長完全

中コレラ流行の中心地聯合州のい

防共陣営金々堅し

畏し皇后陛下 繃帶御下踢

下腸の御沙汰があり中島版に對し前回に引換る鍵階御 三十一日陸軍関係傷疾将兵

京殿道では来るべき水魔の跳梁に一員、各型所々々を押へて緊張な道

水防團の强化に乘出す

籍の下に完全な水散防止をはある

水魔跳梁に備

に利二千噸のソ聯貫物船が出場! 権内印悪布駐臺西南約一里の地合

倒で設計する地下概案は貨客の単 方都市計畫縣業は現在の地上電

我有望場の東京威艦沙陣で総道局れと共に京元級と交叉し更に貸物 即ち中央線の資原町乗入

申込二日まで

毎日新典記事業語では撃衛の忠南

状命に百済の勢を追ふる状 扶蘇山、白馬汀等を一冊一日午後八時半頃京娘本町三子

中央観、京楽館並の二隅が乗り入れ益々を通郷島の温喰を指くので従来が物よりと原閉部され中央観、京楽館並の二隅が乗り入れ益々を通郷島の温喰を計畫してふるが、東海京域に近く中に電車を通の地球結制を希臘し早くから地下電車の破骸を計畫してふるが、東海京域に近く智能の一道を辿る京波 座の市神府路のな河地駅を即向するため城市計場際では市街地野歌の野田の

調査したが不明のため世、日午前 府外國批里で鐵路立丁且立里タク

美校創設を要望

鮮展審査員 橋本嗣雪 動伯語る

審査に置った標本開堂器伯は 解展報金員に今回始めて選ば

取銀を次の如く語った。 した」と初の半島英術戦見の

専想た作品に関本 一瞬の窓続、主たき組の ま代り初入湿に磨打たれたも者は、たい亡きれる一部の傷間国人が、奈婆の初入湿に輝く客見心地のその徴は、思ひたしか誤に磨れて深納の本所繰内で大見五日から公開される第 丁七回鮮起の第三郎に鶴街の呑りも高く飾ら 源に数笑し初入選、京娘で唯一 町五七〇玄縣永君(三)は、京畿中

の佛願西人形製作者であった随駅。胸を他ばんで、不幸昨年の秋西駅で、愛見の常望を遂げさせようと けてゐたが、而たる無理は何君の 手機上気の名前で搬入されたもの つも、半島藝術の協れの塔、鮮展一支機械氏である手を搬入第一日の

涙さしぐむ遺作のフランス人形 た我が子の俤を偲んだと云っ丈

その遺作を出品して發表を心符も「り工場の男女工等予五百名は正年

章 國 靈 屋

· 丛头第选星 (军事公通2年更大) 坎 紫 舟 京城府西州門 東三 の加減の良くない

そのほか 上水道を始め

一き魂に慈愛の親心

緑化の各施設と→OK! ので、けじめて酢扱け酢味にかと がついて県洋劇場の入口まで來る 中から郷色背廣服の三人連れ

音能が出て来て「何故今」ろ持 の餓場捕殺生件數は次の如くたつ から五月末日までの東大門温管内

2、對府總野球 對府總野球戰

金として申出たので掲音は三十一

漫歩から歸った 明治座の氣球

團體往來

る十一旦夜半京城明治陸のアド 一度の勧めへ

社

軍本一六四六番

